元気印の市民団体紹介

応援します市民力。

市内で活躍する元気な団体・サークル・同好会を紹介するコーナーです。
活動内容やイベント情報など、編集部までお知らせください。

コールヒル

◆活動場所：朝日ヶ丘自治会館
◆活動時間：毎週水曜10:00～12:00
◆問い合わせ先：(662) 8439（三浦）

こんなときこそ歌声を

コロナ禍において、多くの団体がどのように活動したら良いのか、いまも模索を続けています。市内で半世紀近く活動を続けてきた合唱グループ「コールヒル」もその1つ。2020年には45周年記念コンサートを企画していたのですが、新型コロナウイルスの影響によって、やむなく中止に。そんななかでも開催を模索し続け、この春、2年越しの歌声を無事に響かせることができました。

1975（昭和50）年3月に結成したコールヒルは、丘（ヒル）の上の自治会館をコーラスの練習場所に使用していることが名前の由来となったとか。当初は小学校に子どもを通わせるお母さん方が集まって開催された、1回きりの合唱コンサートのために集まったグループでしたが、歌い続けたいという有志が集まり、そのとき伴奏のピアノを弾いていた三浦妙子さんの指導のもとで活動を続けることになりました。楽譜が読めない方でも一緒に歌えるように、カセットテープに音を録音したもので練習するなど、指導法を工夫してきた三浦さん。これまでさまざまなイベントに出演してきたほか、ほぼ5年ごとに定期的なコンサートを重ねています。

現在は娘の三浦みどりさんが指導を引き継ぎ、25名のメンバーが毎週水曜日の午前中に練習を重ねています。徐々にメンバーが減ってきてしまっているのが悩みの種だそうですが、「歌うことが好きだから、倒れるまでまだまだ歌い続けますよ」と語る元気いっぱいのメンバーたち（なかには80代後半の方も！）。仲良く、楽しくを合言葉に、みなさん、毎週練習に励んでいます。こんな状況だからこそ、心を豊かにしてくれる温かな合唱グループに、あなたも参加してみませんか。

▲40周年記念コンサートの様子

宮大工 吉川棟梁仕事展

2022年6月10日（金）～13日（月）　入場無料
10：00～20：00（最終日は16：00まで）
学園都市センターギャラリーホール（八王子オクトーレ11階）

本展示会では、宮大工として数々の寺社や市内の山車の再建・補修などにかかわってきた吉川棟梁の足跡を、パネルや実際の建築物の一部などを通して辿ります。また、八王子まつりの醍醐味といえる山車についての相原悦夫氏の記念講演会や手がけた寺社建築の見学会も開催。吉川棟梁作の仏教美術作品も展示するなどして、「宮大工」の世界を余すところなくお伝えします。

●会期中特別企画
「八王子の曳山祭 ── 匠の技と祈りの伝承 ── 」
日時：6月11日（土）　14：00～（予約不要）
会場：八王子市学園都市センターイベントホール
（八王子オクトーレ12階）

お問い合わせ　（事務局）八王子市元本郷町3-17-15　浜中ビル2階
八王子自治研究センター　TEL（626）7714　FAX（621）6423

※ここは「はちとぴ」を応援してくださっている方々に自由に使っていただくフリースペースです。今回は「八王子自治研究センター」です。

八王子の民俗誌 17

八王子地域社会研究会 代表　佐藤　広

古い甲州街道が結ぶ富士信仰

浅間（あさま・せんげん）は古くは火山神のことで、のちに浅間神（木花咲耶姫）として富士山の信仰が全国に広まった。とくに江戸時代後期には主に江戸の町人が富士講を組織し、小さな富士山である富士塚が各地に築かれた。夏は白い行衣（ぎょうい）を着て、手に金剛杖を持った多くの富士講の人々が甲州街道を歩き、富士道のある高尾山が白い山に見えたと聞いたことがある。

これより前の戦国時代末から江戸時代はじめのこと。富士森公園の名の由来となった浅間神社は、「慶長17年（1612）大久保長安が二丈余の大塚を築き山上に駿河国の浅間神社を勧請した」（『南多摩神社誌』21頁）とある。大塚とは富士山の雛型である。現在の並木町（散田の新地）の稲荷神社境内にも、浅間神社がある。この社はもとは現在の横山事務所の所にあった。『武蔵名勝図会』などによると、散田村の新地に接している川原を吉田河原、川を吉田川と言った。それは天正年間（1573～92）に富士吉田の浅間神社の御師たちがここに移住していたからで、彼らは浅間神社を祀り、天正年間の末に富士吉田にもどったという。

▲並木町にある稲荷神社（左）と浅間神社（右）

当時はこの2つの浅間神社をつなぐ道があった。八王子には、武蔵の国府（府中）と甲斐の国府（甲府）を結ぶ東西の道がいくつかあった。そのうちの1つについて『八王子市史』（下巻525頁）には「湯殿川に沿って山田村辺に至り、その後散田村附近で旧甲州街道と合した東西の交通路があったと思われる」とある。この経路には、府中から日野の豊田・北野天神・七日市場・十日市場・万福寺・廣園寺・真覚寺など、古い寺社や地名が存在する。

山田（やまた）の廣園寺から散田村（散田町）に抜ける峠道は今は無いが、甲州街道以前の重要な道であった。付近に打越という地名があるのは野猿峠の麓の打越と同じく、この峠道が人々に深く意識された時代があった証拠である。

現在は切り離された区画となっているが、かつて山田は散田の一部であった。真覚寺に接する散田町の高宰神社は、信玄の娘の松姫が庵をむすんだ台町の御所水や、山田町の廣園寺と関係する由緒を持ち、武田家家臣であった多くの八王子千人同心も信仰する。

戦国時代末から江戸時代の八王子を考えるときに、富士信仰や散田町は視野に入れるべきだと考えている。

八王子自然探訪 3

八王子・日野カワセミ会 会長　粕谷　和夫

富士森公園周辺を歩く

JR八王子駅南口から西へ20分、西八王子駅南口から東へ10分ほど歩くと、富士森公園に着く。ここは古くから「富士森の丘」と呼ばれていたが、台地部で富士山がよく見えたので、「富士」の名が付いたようだ。

富士森公園は1896（明治29）年に開園された市内最古の公園で、「森」の名を冠していることから当初は一帯が森で覆われていたと想像される。今では陸上競技場、野球場などを擁したスポーツ公園と化している。2017（平成29）年、八王子市制100周年記念のメインイベント「全国都市緑化はちおうじフェア」が開催された時には、陸上競技場東側入口付近の木が伐採されてしまい、現在は隣接する浅間神社境内の森が、何とか緑を支えている状態である。

一方、桜並木は残っているので、花見のシーズンには多くの屋台が並ぶ。桜の背後のだんだん広場から階段を上がったところ、平和の像の下の園路付近にはツツジ園があり、5月初め頃に満開になる。ここには躑躅（つつじ）栽植の碑があり、「御大典記念に八王子露店商の方々が、富士森公園に躑躅を植えました」と刻まれている。御大典記念とは大正天皇が崩御されてから、大正殿がここに移築された記念とのことである。

体育館の裏辺りには疎林があり、緑色をしたキツツキのアオゲラが桜の幹に巣穴を掘って営巣したことがある。ここには桑の木もあり、実が熟した時には、ヒヨドリやムクドリの集団がやって来て賑やかになる。

浅間神社境内では小型のタカであるツミが営巣し、その近くでオナガの営巣も観察される。オナガは、カラスなどの攻撃から巣を守るため、ツミを盾に使っているといわれている。繁殖期にはツミは巣を守るために人も攻撃するので、観察には細心の注意が必要である。冬になるとルリビタキ、シロハラなどの野鳥も観察されるが、写真を撮るために餌を撒いて呼び寄せる人が見受けられる。このような不自然な行動は避けたいものである。

富士森公園から南に下ると、山田川が流れている。山田川の市街地部分は典型的なコンクリート3面張り、上流部は住宅団地造成で消滅してしまったが、月見橋から黄金橋辺りは自然散策に適している。5月頃であれば崖の林からはキビタキのさえずりを聞くことができ、冬はシジュウカラ、エナガ、メジロなどの混群（種類の違う鳥が何種類か混じっている群れ）に出会える。

▲アオゲラ

私の本はこうして生まれた

其の五十一

『社会教育推進委員会五十年のあゆみ』　浅川地区社会教育推進委員会　編

市内有数の観光スポット、高尾山のある浅川地域。自然豊かな地域であることは言うまでもありませんが、多くの歴史的・文化的な見どころも擁しています。そんな地域で暮らす人たちが、50年にわたって自らの足もとを深く見つめ、学んできた記録が、1冊の本になりました。この本には、先人のエピソードや戦争の記録など、浅川地域のあらゆる話題が詰まっています。「地域のことは、地域で学ぶ」という思想が、この地には古くから根付いていたようで……。

住みやすい先進的な地域には、古くから教育を大切にしてきたという共通点があります。市内では、浅川地域が社会教育の育った地の1つとして注目されてきました。有名なところでは、1923（大正12）年に中里介山が「隣人学園」を開き、学ぶ意義を教えました。こうした教育への意識が現代に至るまで根付いてきた地域なのです。

「浅川地区社会教育推進委員会」（浅川地区社教）は、1969（昭和44）年に八王子市教育委員会からの呼びかけで発足して以来、50年にわたって地域の社会教育・生涯学習の活動を続けてきました。「地区だより」などの広報紙を発行をしてきたほか、地区文化展の開催、あゆみ学級、婦人学級、家庭教育学級の開設、数々の成人講座の企画を行い、その中からはたくさんのサークルが誕生しました。

ところが2004（平成16）年に、市の財政事情により活動補助金が打ち切られ、各種講座も縮小せざるを得なくなり、広報紙も発行できなくなってしまいました。

市の方針の変化で、各地区ごとにあった多くの社会教育推進団体が1つまた1つと姿を消していく中、浅川地区は最後まで「浅川という地域の歴史や文化、自然に根ざした学び」の役割を果たしてきたと自負しています。しかしながら社会全体の変化もあって、活動を続けることが困難となり、2021年3月をもって幕を閉じました。

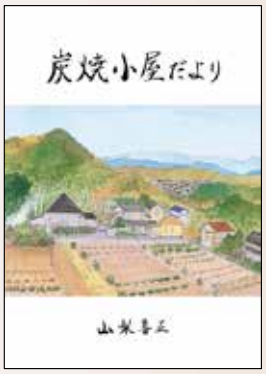
これを機に、今までの歩みの記録をいくらかでも残して、今後の参考になればという思いで、最後に『五十年の歩み』を冊子としてまとめることにしました。前半の活動については、20年、30年の節目にも冊子をまとめたこともあり、十分に取り上げられなかった部分もありますが、浅川地域に根ざした学びの一端を残すことで、今後の地域のさまざまな活動の役に立てていただければ幸いです。

（編者記）

『社会教育推進委員会五十年のあゆみ』
浅川地区社会教育推進委員会編
A4判・66P・フルカラー
※本書をお求めの際は、当誌編集部までどうぞ。

BOOK REVIEW ―八王子の自費出版本を紹介―

※このコーナーで紹介する自費出版本を募集しています。紹介してほしい本がありましたら、ご一報を。



炭焼小屋だより

山梨喜正・著
★私家版・非売品
★A4判、234ページ
※本書は私家版です。詳細は当誌編集部まで。著者をご紹介します。

本を函（はこ）から引き出すと、優しい色合いの風景画が飛び込んできます。中央やや左に著者のご自宅、右上に富士山がひょっこりと頭を出し、左端にモクモクと煙を上げる窯が見えます。炭焼小屋の所以です。約20年前に書き始めた個人通信「炭焼小屋だより」177号分をまとめた本著。政治、教育、戦争などの硬派なテーマから、趣味のコカリナや読書、家族の話題まで、著者の視線は煙のように多岐に広がっています。長く書き続ける根気や努力によって、社会の中に埋没する個人ではなく、逆に個人の側から社会を照射できるのだと教えてくれる好著です。

高尾山の花を写そう！

高尾山の花名さがし隊・編
★揺籃社・発行　600円＋税
★B6判、40ページ
※本書をお求めの際は、お近くの書店でご注文いただくか、当誌編集部までお問い合わせください。

『高尾山の花名さがし』『高尾山おもしろ百科』『乱世！　八王子城』『大久保長安家康を創った男』（いずれも揺籃社刊）などの著作がある遠藤進さんの新刊が完成！　地域紙「ショッパー」に連載して好評だった、花の写し方コラムをまとめた小冊子です。花のどこにフォーカスしたらよいか、どういうテーマで撮影に臨むとよいのか、撮影した写真の活用方法、春夏秋冬のカラフルな花たちのフォトアルバムなどがコンパクトにまとめられています。ぜひ本書でコツをつかんでから、カメラ片手に高尾山に繰り出してみてくださいね。

次号予告

「片倉城とその周辺」（仮）

典型的な中世の城郭として知られている片倉城。現在も土塁や空堀が残る城跡とその周辺は公園に整備され、花々や野鳥などから季節の移り変わりを楽しめるほか、数々の彫刻が並ぶ文化的な場所でもあります。次号では、そんな片倉城跡周辺の歴史や文化、自然などを多方面にご紹介。情報募集中！

第52号（清風号）は
9月1日発行予定

広告募集中！

「はちとぴ51号」は9,000部を発行、右記の場所にて配布いたします。八王子市民にアピールしたい商品やサービスの広告にピッタリ。是非、協賛ください。

提携店募集中！

お客さんとのコミュニケーションツールにしたり、待ち時間の合間に雑誌感覚で読んでもらったりと、利用方法はさまざま。「はちとぴ」を新サービスとしてご活用ください。

お問い合わせはこちら

揺籃社（清水工房内）
はちとぴ編集部
TEL（620）2615
FAX（620）2616
E-mail info@simizukobo.com

「はちとぴ」の置いてあるところ

公共施設

八王子観光コンベンション協会
八王子商工会議所
八王子市郷土資料館
八王子市中央図書館
八王子市川口図書館
八王子市南大沢図書館
八王子市生涯学習センター図書館
八王子市絹の道資料館
八王子市役所産業振興部
八王子市役所スポーツ振興課
道の駅「八王子滝山」
サイエンスドーム八王子
八王子クリエイトホール
八王子市学園都市センター
八王子市市民活動支援センター
八王子市子ども家庭支援センター
八王子市芸術文化会館いちょうホール
八王子市教育センター
八王子市南大沢事務所
八王子市南大沢文化会館
八王子セミナーハウス
長池公園自然館
高尾山599ミュージアム
夕やけ小やけふれあいの里
市内各市民センター　等

お店・企業・学校

アート八王子
アクサ生命
㈲赤坂商店
御菓子司　旭苑
吾妻寿し
アメニティーライフ八王子
㈲荒物加島屋
小俣ダンススタジオ
café de la poste
cafe rin
ギャラリー・スペースことのは
京晴㈱
くまざわ書店
くまざわ書店京王八王子店
くまざわ書店西八王子店
㈱クラブS保険サービス
グループホームびおら
桑の実幼稚園
敬愛保育園
啓文堂高尾店
工学院大学
小谷野紙店
㈲埼玉屋本店
和食　坂福
坂本クリニック・坂本医院
JA八王子ふれあい市場
シミズパーク24
東京都立大学
スマイルこどもクリニック
㈱スリーボンド
せいがの森保育園
セブンイレブン八王子北口店
創価大学
高尾の森わくわくビレッジ
拓殖大学
そば・うどん　玉川亭
たましん散田店
多摩美術大学
中央大学
東京家政学院大学
東京工業高等専門学校
東京純心大学
東京造形大学
東京薬科大学
とみりえ
中野屋商店
㈲中村自動車
㈱日住
ハーモニーネット
はちねこ！カフェ
八王子エルシィ
八王子学園八王子高等学校
八王子中央自動車学校
八王子市役所売店「はっち」
八王子消化器病院
びおら
㈱富士屋
ふもとや
Coffee Bricks
ベネック
法政大学
まつおか書房
松姫本店
㈲峰尾豆腐店
みやま大樹の苑
山梨中央銀行八王子支店
㈱山六
有隣堂CELEO八王子店　等

その他団体など

サイバーシルクロード八王子
八王子法人会
八王子市医師会
八王子市職員等事業本部
八王子自治研究センター
八王子センター元気
八王子いちょう祭り祭典委員会
墨のアトリエ墨童舎
はちとぴサポーターの会　等

はちとぴ イベントカレンダー ＜5月～8月＞

情報募集中

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

5/28（土）

日本の魂で世界と繋がる「和～るど・ミュージック祭り!!」

民謡や盆踊りなどの日本の伝統を世界の音楽と融合させるスペシャルなアーティストが八王子に集結。かつてないコンセプトの和～ルド・ミュージック・コンサート!!

会場：いちょうホール（大ホール）　開演：16:00
料金：3000円（全席指定、未就学児入場不可）
問 （公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団
☎（621）3005

6/4（土）

南大沢ジャズシリーズ Vol.25 梅雨の晴れ間のライブ＆トーク！

NF4による誰もが知るスタンダードジャズの演奏を通して、ジャズの歴史や即興の面白さに触れられるレクチャーありのライブ＆トークです。

会場：南大沢文化会館（交流ホール）　開演：14:00
料金：3500円（全席自由、未就学児入場不可）
問 （公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団
☎（621）3005

6/11（土）

八王子の曳山祭―匠の技と祈りの伝承―

６月10日（金）～13日（月）に開催される「宮大工吉川棟梁の仕事展」に関連した特別イベント（本誌p10参照）。八王子まつりに欠かせない山車の魅力をご紹介します。

会場：学園都市センターイベントホール
開演：14:00　入場無料
問 八王子自治研究センター
☎（626）7714

7/1（金）～7/5（火）

第14回『はがきで文字遊び』ありがとう展

四季折々の感動や喜びをはがきに託す「はがきで文字遊び」の会が送る作品展。久しぶりの開催に向けて、感謝の気持ちを表現します。

会場：ギャラリー新
時間：10:00～18:00（最終日は正午まで）　入場無料
問 「はがきで文字遊び」の会
☎（623）3028（吉沢）

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変更される場合があります。参加を予定されている方は事前にお問い合わせ先へご確認ください。

小島善太郎「百草画荘」

日野市立小島善太郎記念館

日本洋画史に多大な功績を残した小島善太郎が晩年に過ごした「百草画荘」は、今年開館９周年を迎えました。

画伯生前の雰囲気を可能な限り残しつつ、晩年を中心とした作品約50点やさまざまな遺品などを展示します。

- 開 館 日：毎週土・日曜日、祝日
- 開館時間：10時～17時
  ※冬季（10～２月）は16時まで
- 観 覧 料：大人300円、小人（小・中学生）100円

アクセス
(1)京王線百草園駅下車徒歩20分
(2)京王バス三沢台路線（高幡不動駅～聖蹟桜ヶ丘駅）「南百草」「百草園住宅東」バス停から徒歩５分
(3)タクシー…京王線聖蹟桜ヶ丘駅または高幡不動駅から10分
※駐車場あり（駐車台数には限りがあります。なるべく公共交通機関でお越しください。）

お問い合わせ
042-591-7775　百草画荘　※開館日時のみ
042-585-1111　日野市役所文化スポーツ課 芸術文化係

小説　花とゼロ戦

著者＝玉利　勝範
原作＝ジャネット・デルポート（カナダ在住）

これは、「旧帝国海軍２０１空 神風特攻 敷島隊」と一白人女性の信じられない愛情物語である。令和４年の現在、世界の主力兵装は、ＡＩ搭載・高性能・無人特攻ドローン爆弾である。「平和平和」と言いながら、各国とも開発に余念がない（笑）。この兵器にも使われている日本語「かみかぜ」……。つまりこの名の下に散華した当時の優秀な若者達は、未だに戦後の日本を守っているのではないか？　そう筆者は考えている。

四六判、108頁、ソフトカバー、1000円＋税、揺籃社刊